

おやおや

偶然にもキミが私の下着に顔をうずめている写真が撮れてしまったわけだが…

さて、

少し時間をもらえるかな？

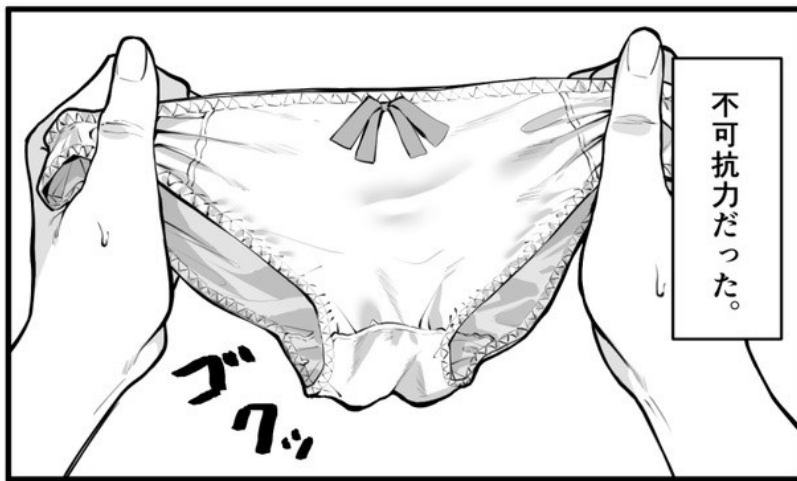


どうだい？

これで射精できそうかい？

ほら、早く出すところを見せたまえ。

なぜかクラスの優等生のパンツを見ながら、オ○ニーすることになった話。

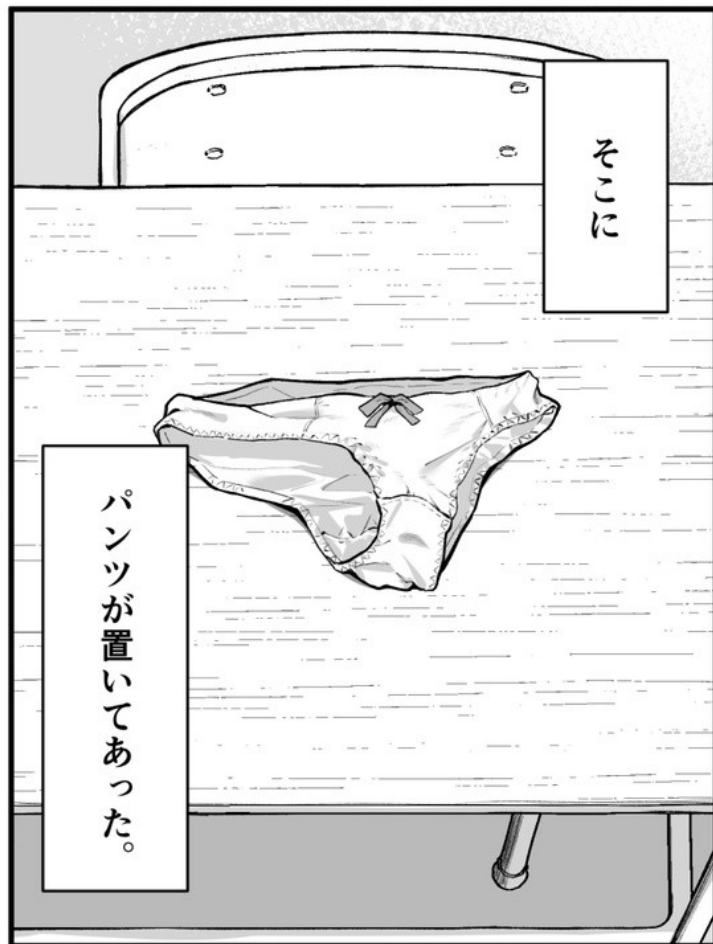


不可抗力だった。



責められることではないと思う。

ズウ



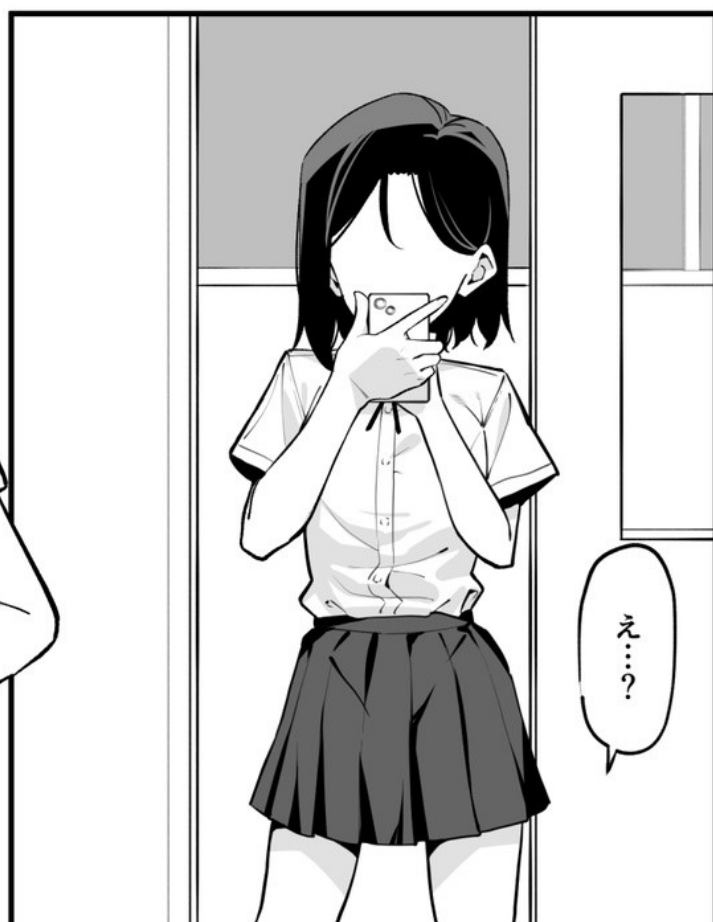
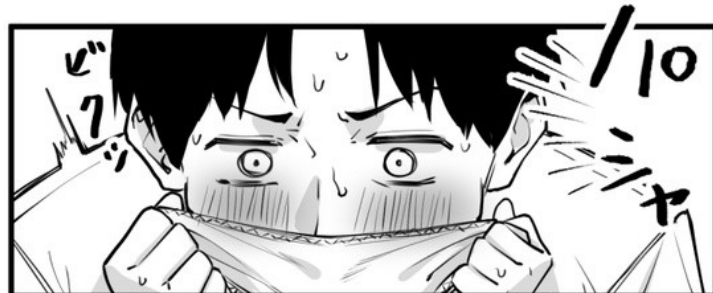
そこに

パンツが置いてあった。

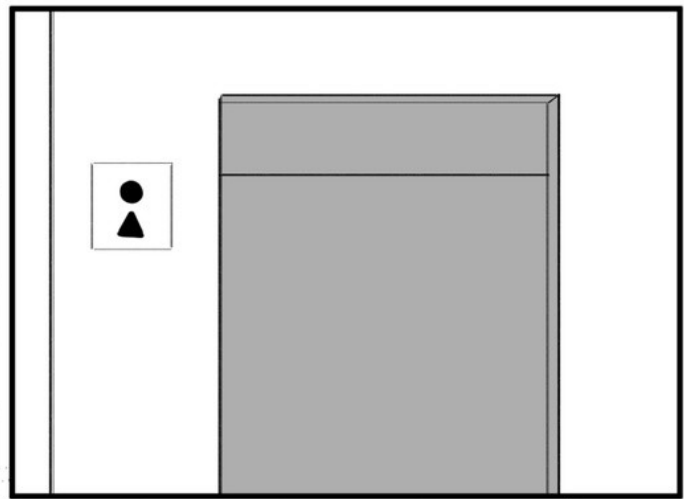


面白いモノが撮れてしまったよ。

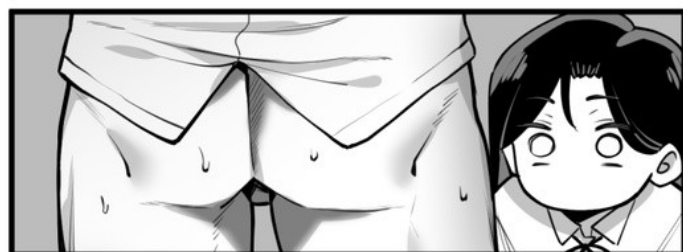
人生が終わる音が聞こえた。



え...?







こ、これは今

「勃っている」

状態なのか!?

いいや、まあ、
半勃ちくらい?

「半勃ち」?

50%ということか。

じゃあ、100%も

見せてくれ!!

遠慮することはない。

ちよ、ちよっ!!

はて?

そ、そう言われても!!

オレもこんな状況で
混乱してるっつか

そもそも、こういうのには
「オカズ」が必要で…。

「オカズ」?

この可愛い
お顔だけじゃ不足かい?

ぐっ…!!正直、委員長の
顔だけでも充分イケるが

きゅるん

「きゅるん」やめて?

ここでそれを認めるのは
悔しい。

むう、だめか。

というか、情けない!!
あまりにも!!

じゃあ、

これならどうかな?

キゅッ

!!

勃起そうかい？

い、委員長の

生パンツ…!!

おお、大きくなった!!





汚れそうなので
脱いだスカート



「私」の評価は

それなりと思ってよいのかな？



キミのその手つき

鼻息の荒さから察するに



それなり？

それなりどころじゃない。

いつも凛とした優等生

皆からの信頼も厚い
人気者。

そんな委員長が
パンツ丸出しで股を開いている。

おやおや

もうパンツしか
見ていないなギミ。

はぁ

はぁ

うん

うん

これ以上のモノなんて
無いだろう。

シクシク

委員長の…

こういうのが好きなんだろう？

男の子は。

手の動きが早くなったね。

ま〇毛…!!

はぁっ

はぁっ はぁっ

はぁっ シュ

シュ

はぁっ

シュ

はぁっ



おっ

おっ

おっ

おっ

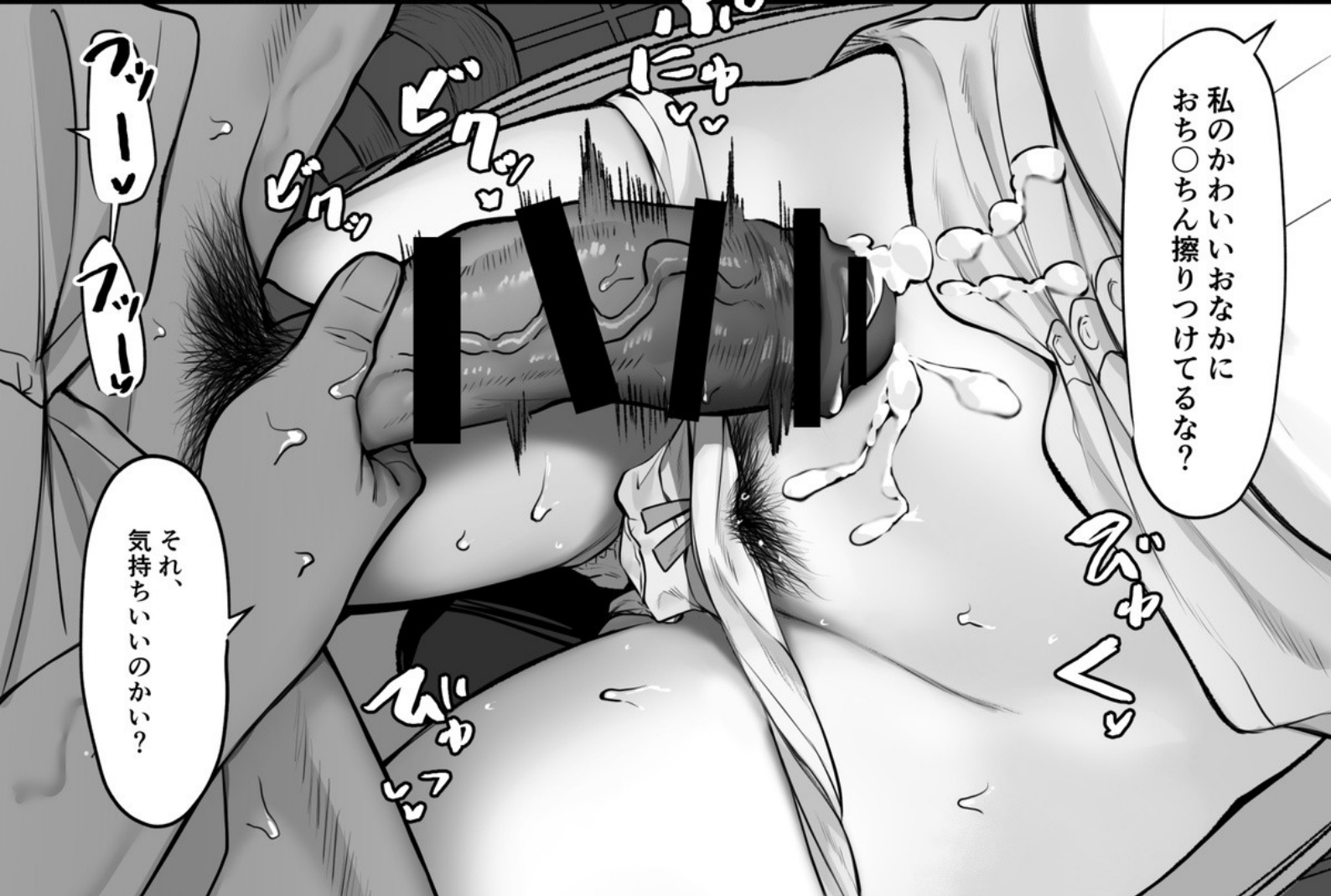
びゅるるる

おお!!

びゅ

びゅ

おっ





おっと。



はぁ

はぁ

はぁ

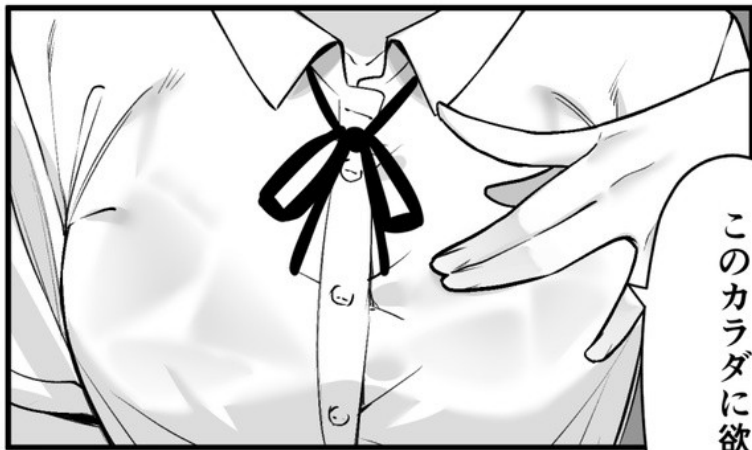


ごごめん。
委員長…。

なに、
気にすることはないよ。

…出し切ったかい？

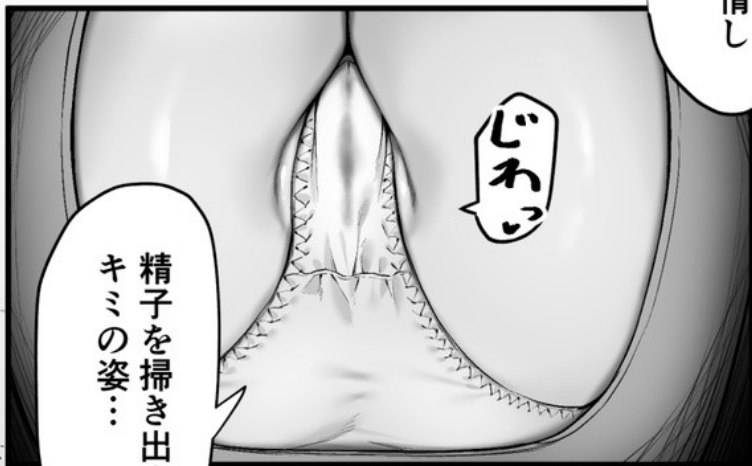




このカラダに欲情し



それよりも



精子を掃き出す
キミの姿...



かなりそそられるものが
あったよ。



クセになりそうだ♡

んっ♡



コ、コイツ...

異常者!!

またよろしく頼むよ。

ちなみに、キミに
拒否権は無いのであしからず。

ふいっ

こんなやばい奴だったのか…。

それは銭別だ。

ホイ

汚れてしまったからね。

好きに使ってくれ。

じゃあ、また。

中山くん。

こうして、彼女と俺の
奇妙な関係が始まった。

いや、だから、
田中だって…。



遠慮せず見たまえ。



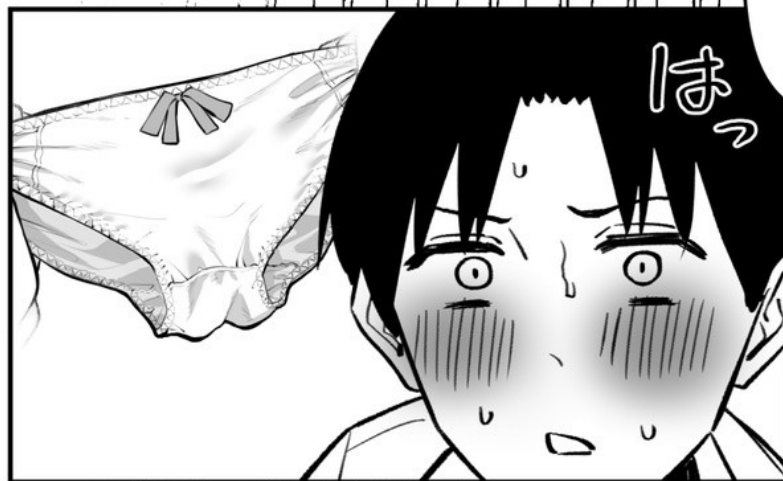
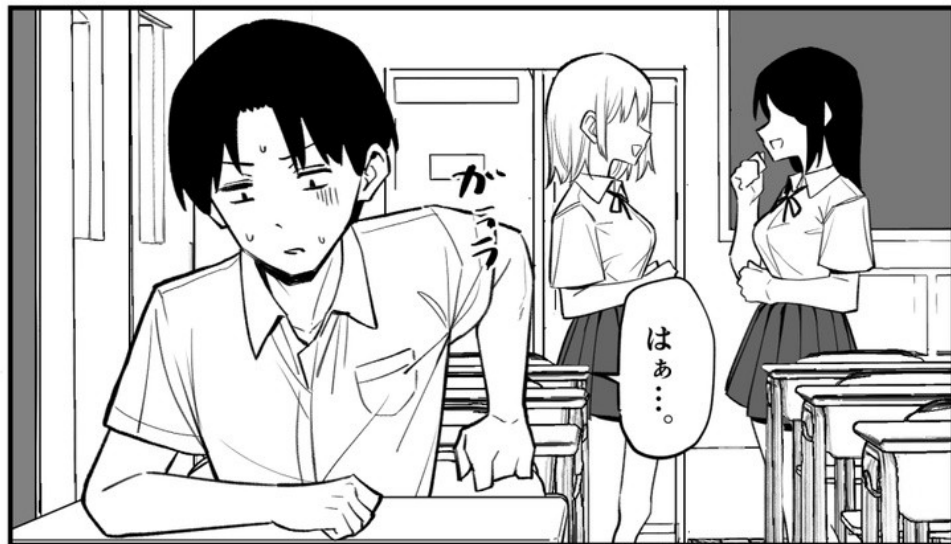
どうかな？
田中くん♡♡

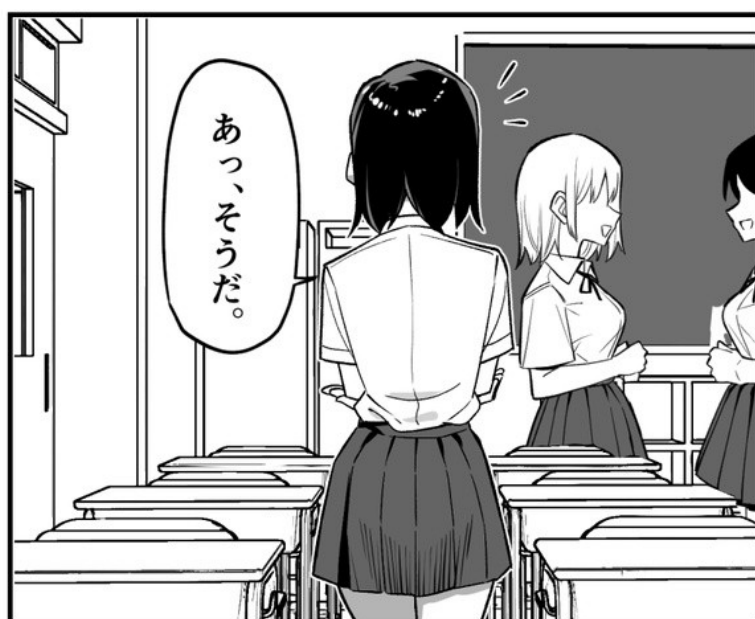
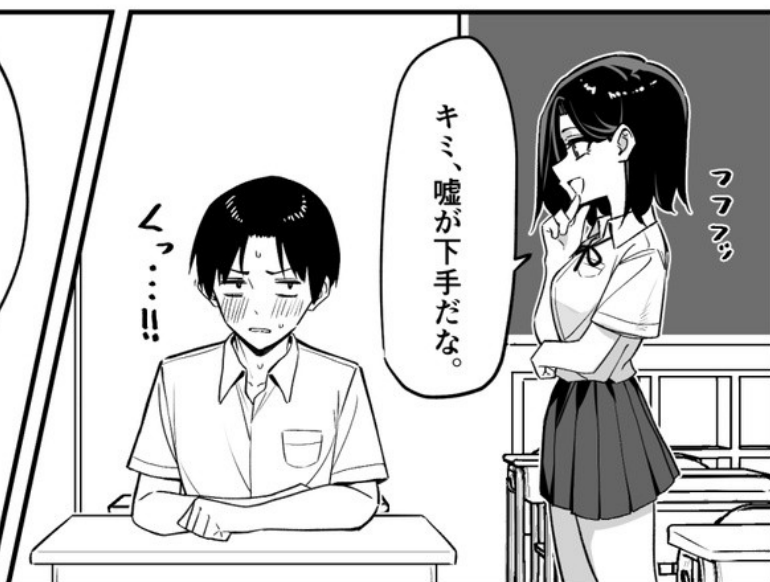
出せそう？



妄想オナニーが
捗る田中くん。

くそ!!
こんなの止まんねえよ...









ほら、

キミの大好きな
おパンツだよ？

はま
はあ

キミ、
やたらと毛を見たがるね。

オナニーを見せるという
奇妙な生活が続いている。

あれからというもの、

委員長に呼び出されては

ぐい

委員長

なんだい？
太田くん。

おや？

いつもの「田中だよ!!」の
ツッコミはないのかな？

お前、
やっぱりわざとじゃん。

毎回
スカートだけ脱ぐ

俺、今日もお前の
パンツ見ながら

シコんの？

それで、

何か不満でも？

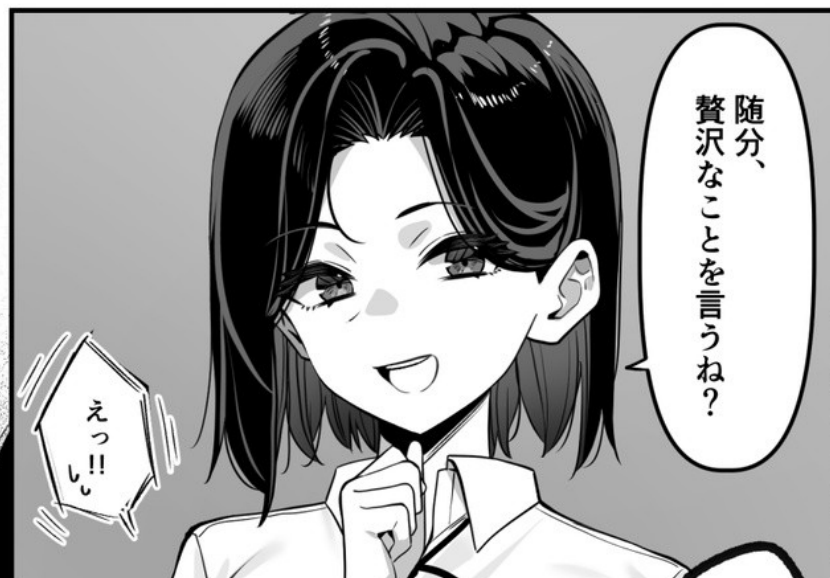
いや
いや

嘘だ。

パンツだけで十分
イケる。

無理があるというか…。

さ、流石にもう
パンツだけでシコるのは



やばい!!
調子に乗ったか?

ち、違うんだ!!

ただ、

一理ある。

!!

「非日常は非日常であるがゆえに、エロスたり得る。」ということか。確かにそれはあるかもしれない。

人間は慣れる生き物だからね。

キュッ

…え?

よく分からんけど、納得してくれた。

私も丁度、違う反応が見たいと思っていたところだし、新しい試みも面白いかもしれない。

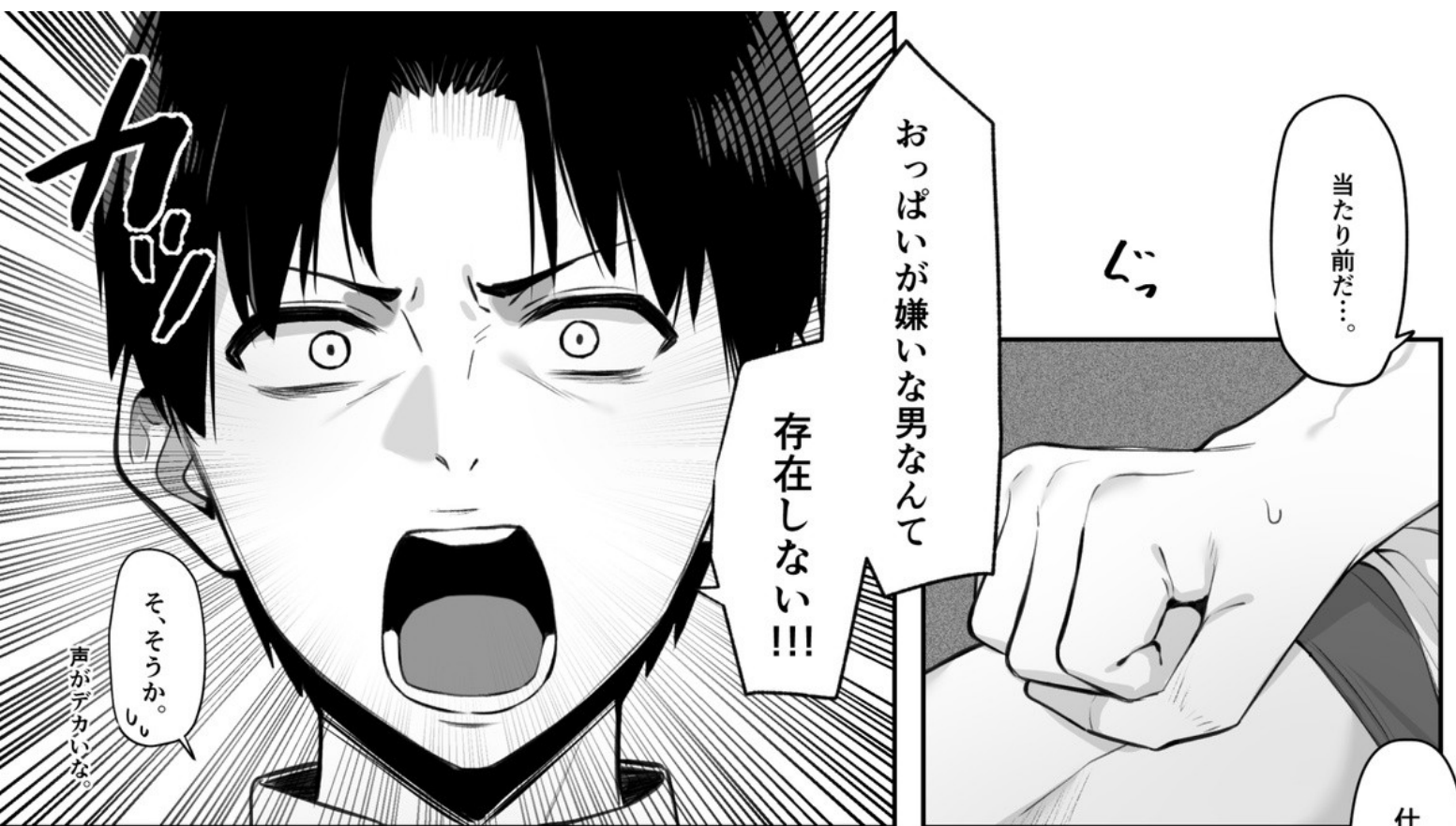
それで、具体的にどうしろと?

そ、それは…

やっぱり胸か?

そんなに好きかい? この脂肪の塊が。

い
い
…



当たり前だ…

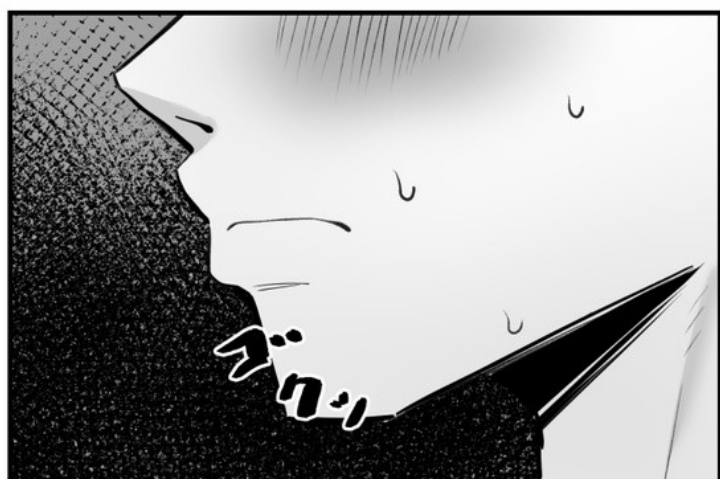
しゅ

おっぱいが嫌いな男なんて

存在しない!!!

そ、そうか。

声がデカいな。



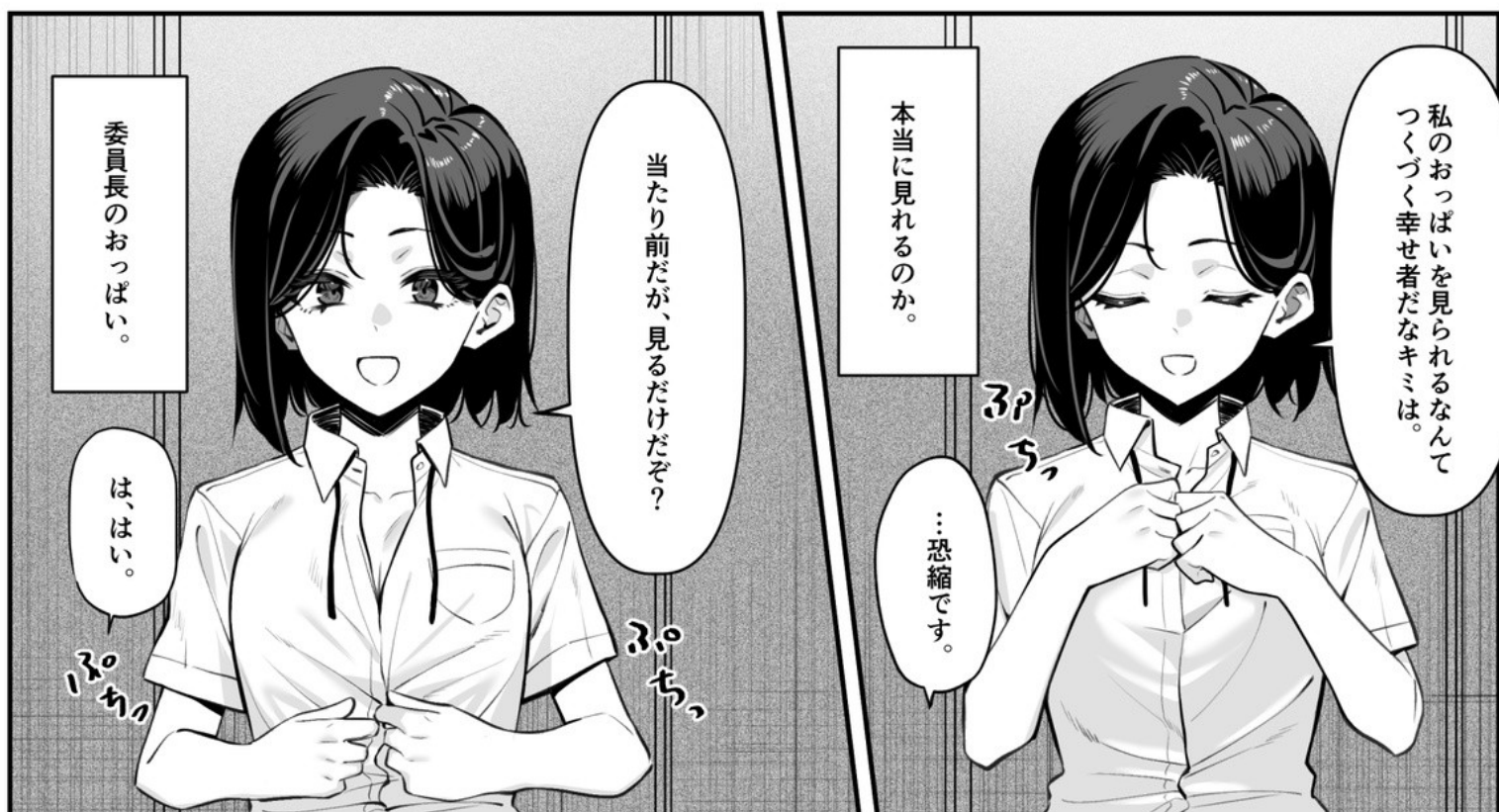
仕方がない。

ペットにごほうびを
あげるのも主人の役目か。

しゅん

ペットって言った？今

しゅん



私のおっぱいを見られるなんて
つくづく幸せ者だなキミは。

本当に見れるのか。

ふふっ

…恐縮です。

当たり前だが、見るだけだぞ？

委員長のおっぱい。

は、はい。

ふふっ

ふふっ





なに？
ブラも脱げ」って？



…しょうがないな。

なんで、
ボタン閉めて…？
しし

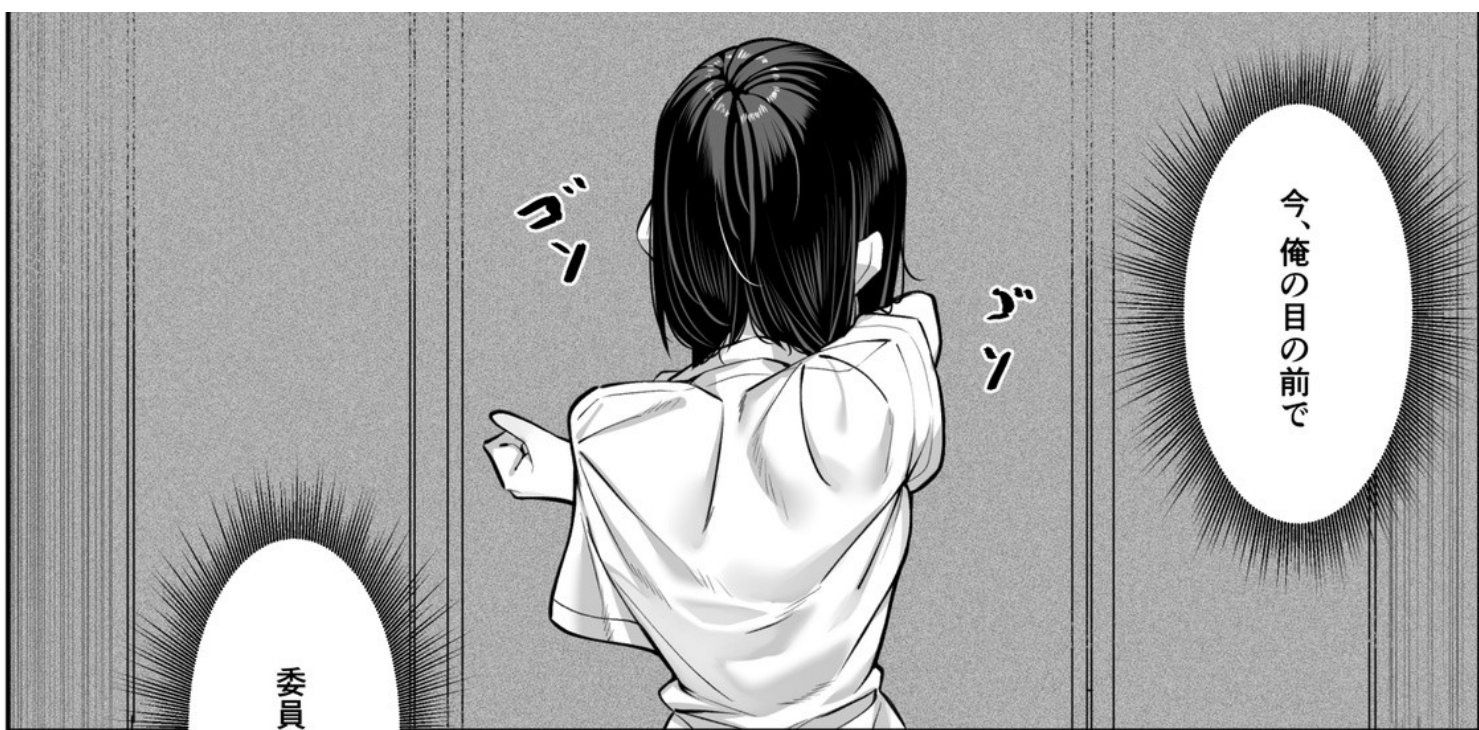


!!

は、はずしてる…？

は
ち

し

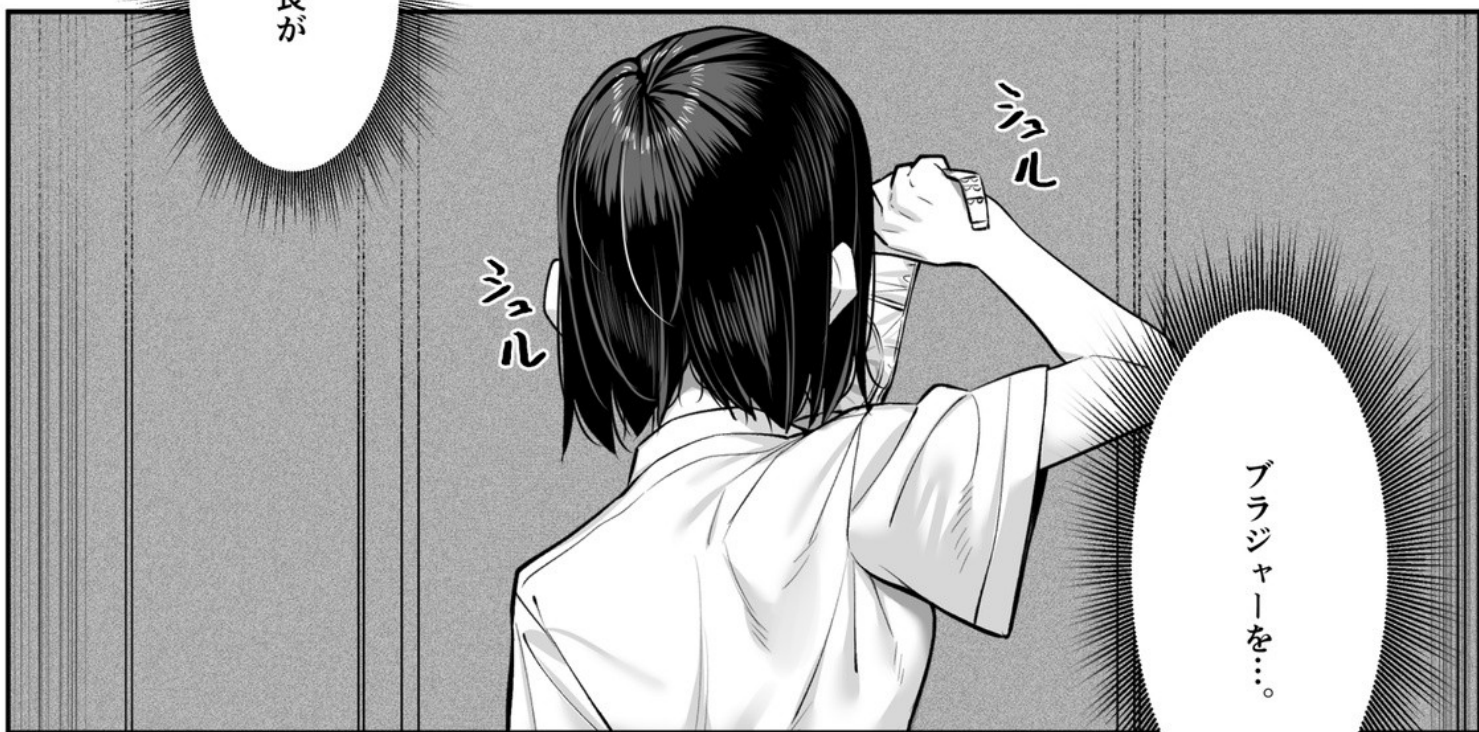


今、俺の目の前で

ゴッ

ゴッ

委員長が



ブラジャーを…。

シッル

シッル



ヒッ



脱いだよ?

美少女のノーブラ
おっぱいだぞ?

ほらほら。

この揺れを見たまえ。



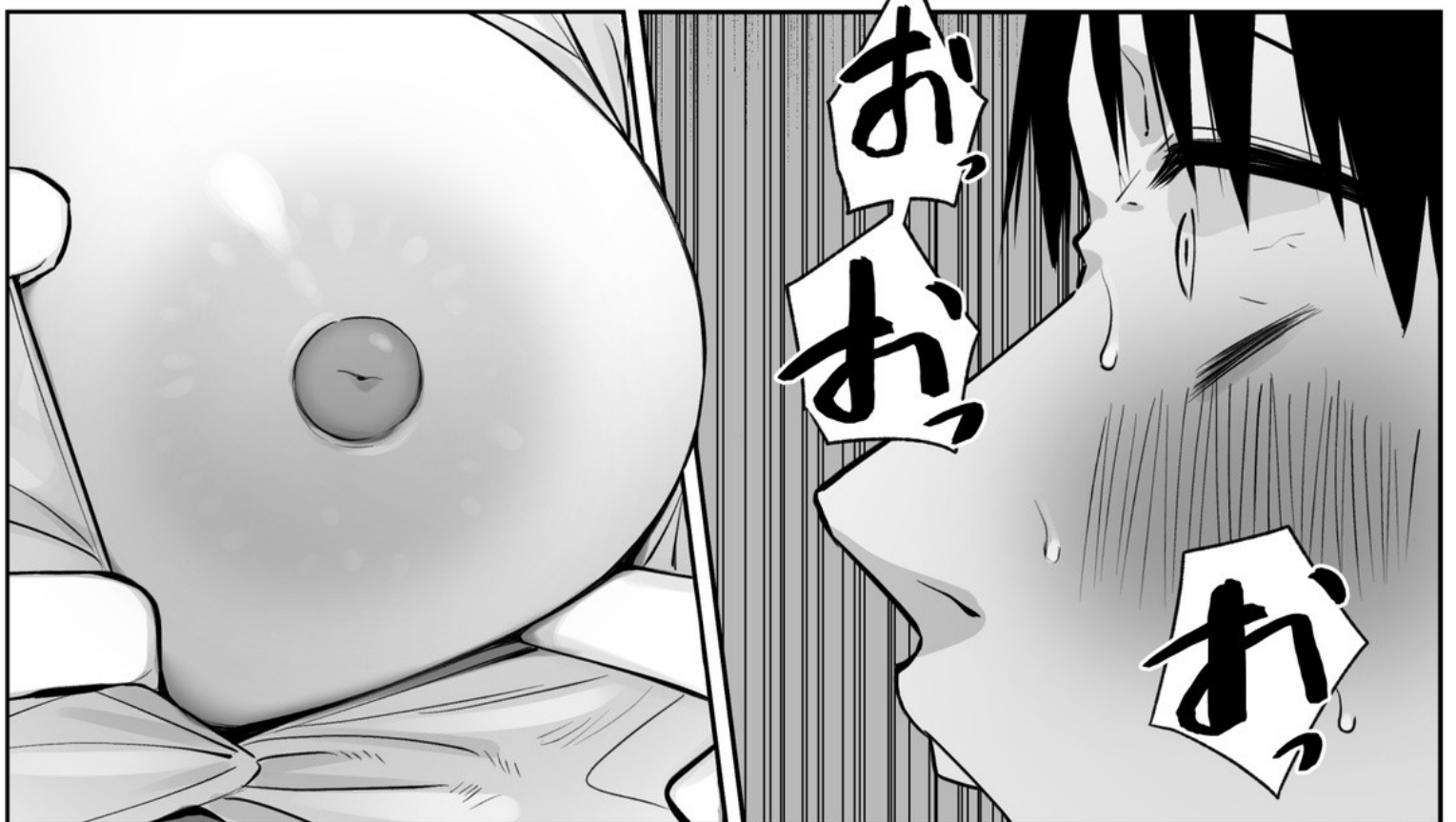
ぎゃん

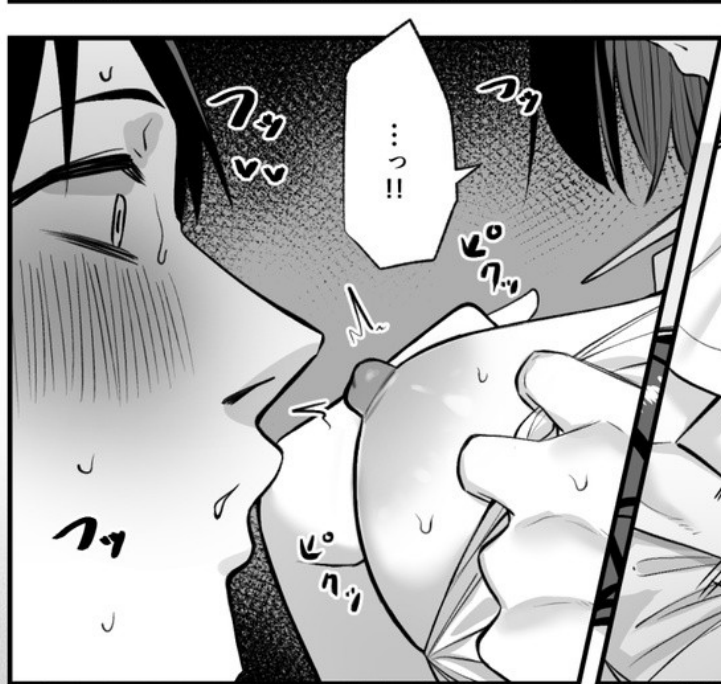
はぁ
はぁ

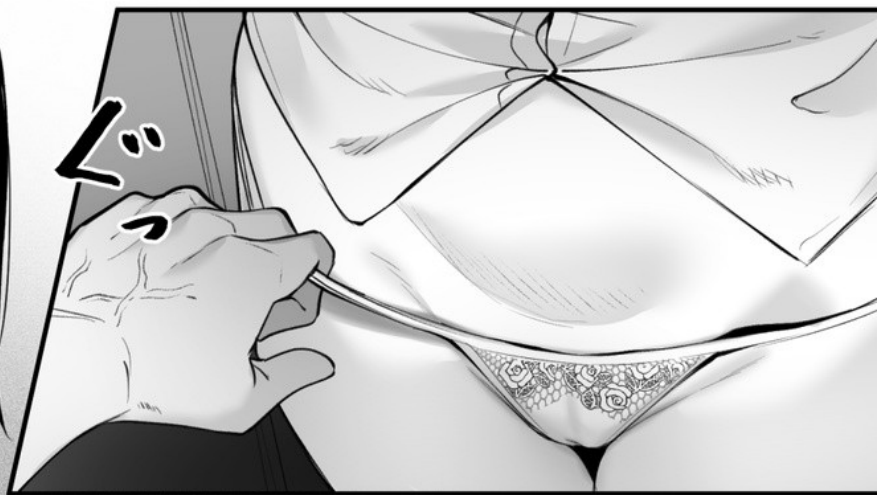
はぁ
はぁ



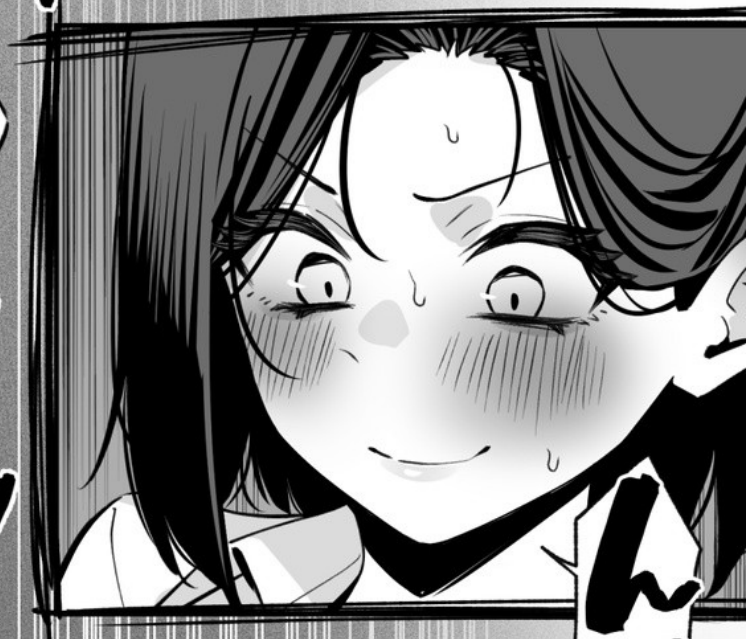








ズ
ル
ッ



ん!
!?

お、おい!!
勝手に…

お、

お、





毛

お、おい。

おっぱい

そ、そんなに擦って
大丈夫なのかい？

ま○毛!!

おっぱい!!

出る!!
出る!!

出る!!

ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ



お

ど
び
お

び
ゆ

る
る
る
る

び
や
っ
っ

び
や
っ
っ

び
や
っ
っ

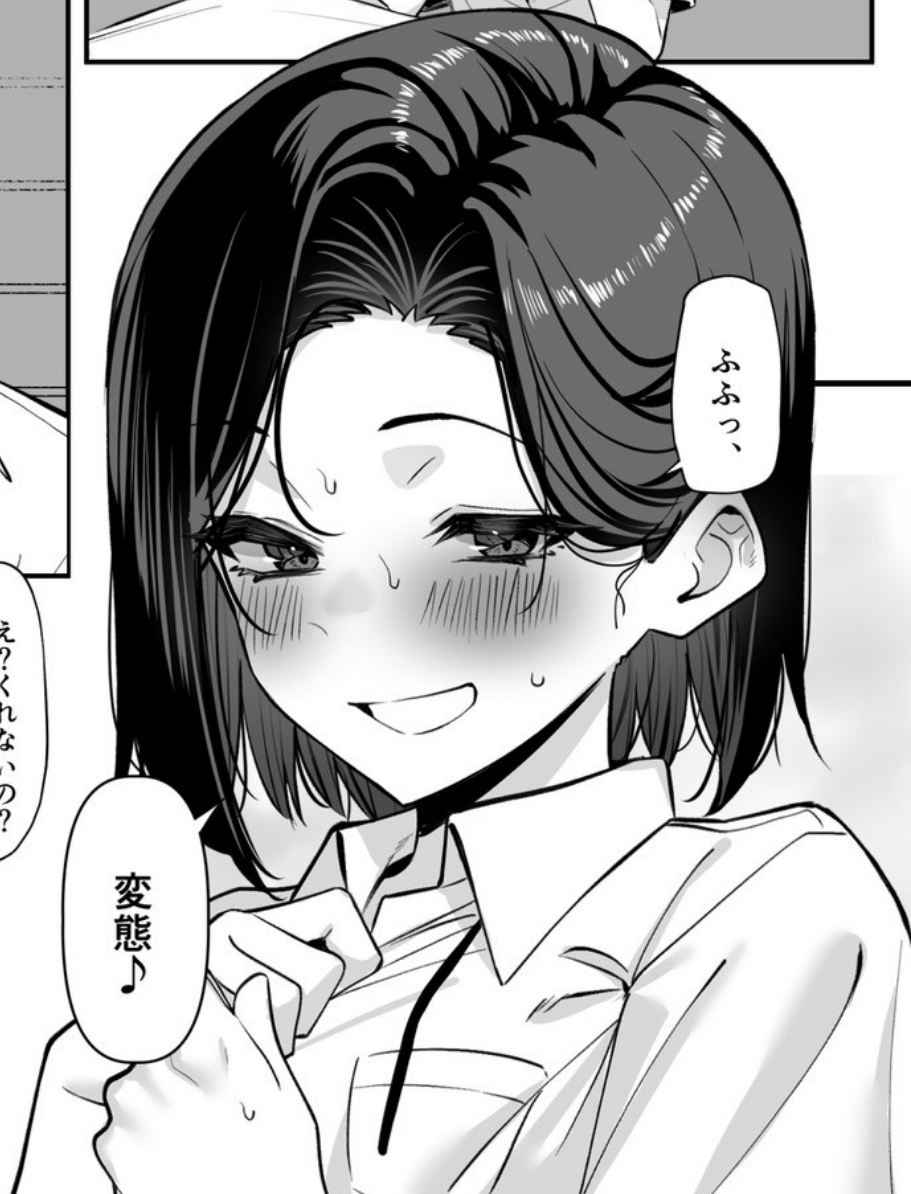
び
や
っ
っ

び
や
っ
っ

ど
き

あ
ー

ど
き





キミのソレは、
大きい方なのかい？
小さいのかい？



また見てたな？

えっち♪

嘘をつく必要はないよ？

北桜 茜 (きたざくら あかね)

- 容姿端麗、成績優秀、皆からの信頼も厚いクラス委員長。
- 実は性への探求心も人一倍で、日々妄想に明け暮れている。

- 厳格な家庭で育っており、多くの娯楽が制限されている。
- スマホは所持しているが、フィルターが掛かっているため一番見たいもの(えっちコンテンツ)は一切見れない。
- 漫画も禁止されているが、小説に関しては検閲が緩いため、最近はおっぱい官能小説で欲望を発散させている。

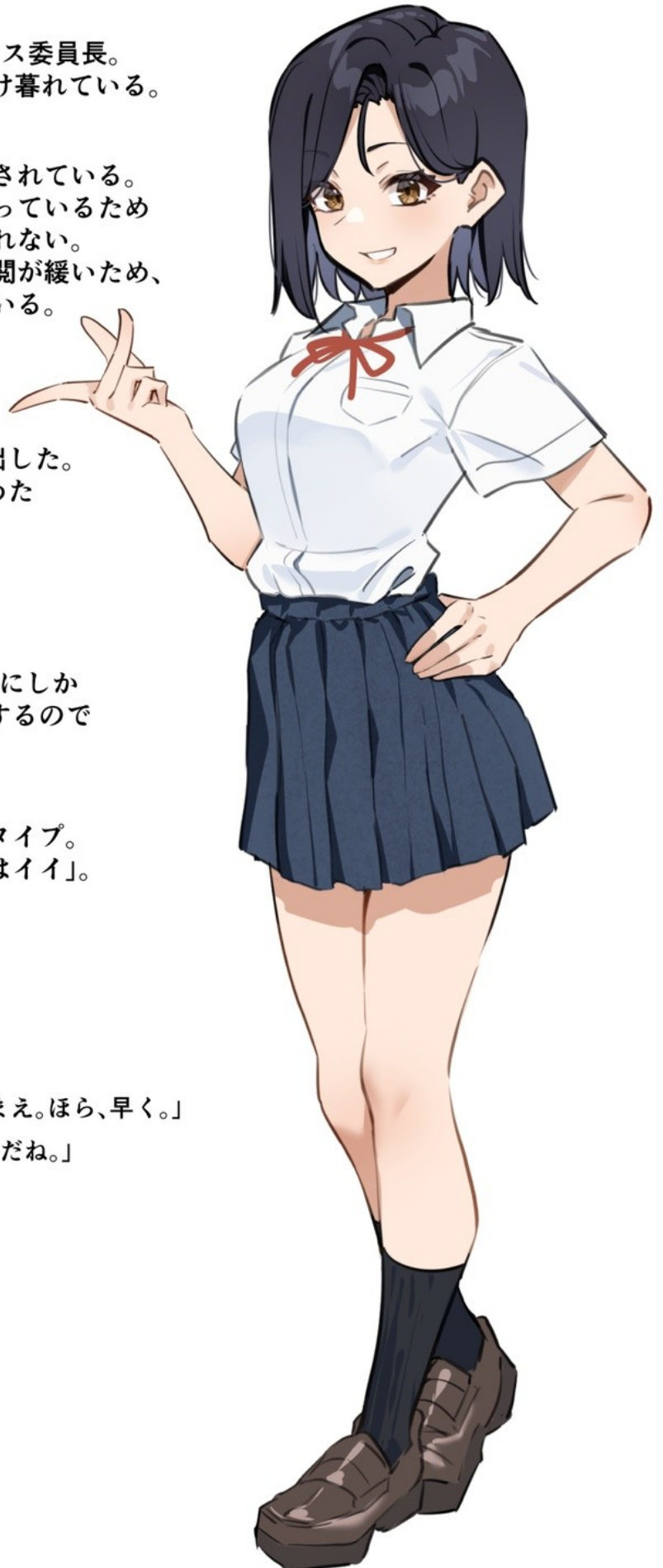
- 官能小説だけでは満足できなくなった頃、観察に観察を重ね、田中という獲物を見つけ出した。まんまと罠にはめた後は、これまで溜めに溜めた性への好奇心を思い切りぶつけられそうだとワクワクしている。
- オナニーの回数も増えた。

- 田中のことは、最初は都合の良い存在くらいにしか思っていなかったが、からかうとイイ反応をするのでそれがなかなか気に入っていたりする。

- 自信の容姿が優れていることに自覚があるタイプ。
- 胸はそこまで大きくはないが、本人曰く「形はイイ」。

「キミは、週に何回オナニーするんだい？ 答えたまえ。ほら、早く。」

「フフッ。キミ、結構可愛いらしいところがあるんだね。」



田中 凪人 (たなか なぎと)

- ムッツリスケベ。
- 北桜にそのスケベ心を見透かされ弱みを握られてしまった可哀そうな人間(自業自得でもある。)

- 品行方正な真面目な人間だと思っていた北桜の奇行に心底ビビリながらも、内心かなりおいしいとも思っているので、win-winな関係なのである。

- 北桜からもらった下着は、洗わずに大切に使っている。

「だから、田中だって…。わざとだろ。」
「ど、どどど、童貞じゃねーし!!!」

くそっ…!!
かわいい。

(あ、おっぱい見えそう。)

